

## Ⅸ. 補足

### 1) 平均値、標準偏差、変動係数の計算法

体重測定記録の例 (単位 g)

172	183	209	185	155	163	190	174	189	189	162
172	199	174	194	171	189	174	187	166	199	
164	154	166	200	177	155	184	170	193	170	(N=31)

#### (1) 計算法

① 測定値をそのまま用いての方法 平均値 = X の合計 ÷ 測定数 (N)

測定値 X	測定値の 2 乗 X <sup>2</sup>	
172	29584	= 5529 ÷ 31 = 178.4g
172	29584	変動 = X <sup>2</sup> の合計 - (X の合計) <sup>2</sup> ÷ N
...	.....	= 992523 - { (5529) <sup>2</sup> ÷ 31 } = 6399.10
163	26569	標準偏差 = { 変動 ÷ (N-1) } の平方根
189	35721	= { 6399.10 ÷ (31-1) } の平方根
...	.....	= ±14.60g
170	28900	
162	26244	変動係数 = 標準偏差 ÷ 平均値 × 100
合計	5529      992523	= 14.60 ÷ 178.4 × 100 = 8.18%

② パソコンを使用する方法

\* エクセルなどの表計算ソフトを利用し、平均値、標準偏差、変動係数の計算プログラムを作成し、何時でも測定値を入力すれば計算結果が表示されます。

#### (2) 標準偏差と変動係数の内容

標準偏差 (Standard Deviation、S.D.) の意味

群のバラツキの度合いを表す数値です。

標準偏差が小さいときは、その群がよく揃っているということです。

標準偏差が大きいときは、その群がばらついているということです。

#### 平均値

±標準偏差の幅に含まれる割合 : 68.3%

±標準偏差の 2 倍の幅に含まれる割合 : 95.4%

±標準偏差の 3 倍の幅に含まれる割合 : 99.7%

- (3) 変動係数 (Coefficient of Variation、C.V.) の内容  
 平均値に対する標準偏差の割合です。  
 変動係数から平均体重±10%のなかに含まれる鶏群の割合が分かります。

### 変動係数と平均体重±10%に含まれる羽数割合

例)	平均体重	3000 g	10,000羽	
CV (%)	%斉一性±10%	2700g未満	2700g以上～3300g未満	3300g以上
5	95.4%	230	9,540	230
6	90.4%	480	9,040	480
7	84.7%	765	8,470	765
8	78.7%	1,065	7,870	1,065
9	73.3%	1,335	7,330	1,335
10	68.3%	1,585	6,830	1,585
11	63.7%	1,815	6,370	1,815
12	58.2%	2,090	5,820	2,090
13	55.8%	2,210	5,580	2,210
14	52.0%	2,400	5,200	2,400
15	49.5%	2,525	4,950	2,525
16	46.8%	2,660	4,680	2,660

## 2) 収容密度と給餌・給水スペース

- (1) 収容密度 (羽/坪)

週令	ウインドレス鶏舎		オープン鶏舎 ブラックアウト鶏舎	
	♀	♂	♀	♂
1～5	30～35	20～25	25～30	15～20
6～20	20～23	10～15	15～18	10～15
21以降	♀ベース	18～20	♀ベース	13～15

- (2) 給餌、給水スペース

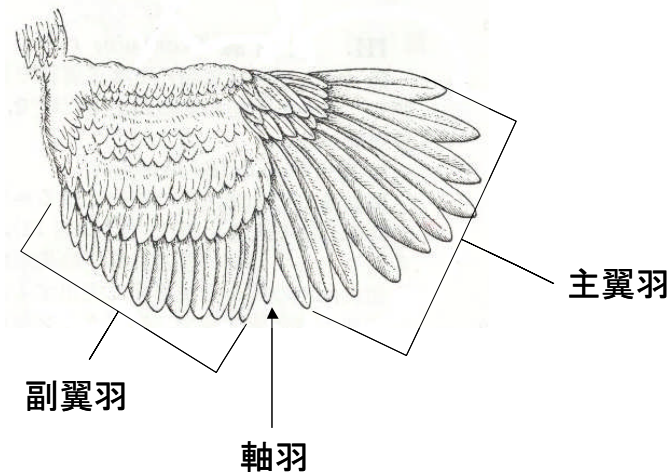
週令	給餌スペース	ベル型給水器	ニップルドリンカー
5～10	10～12cm/羽	80～100羽/個	8～10羽/個
11～20	12～15cm/羽	80～100羽/個	8～10羽/個
21以降	15cm/羽以上	60～70羽/個	5～7羽/個

### 3) 主翼羽の換羽

8～26 週令での換羽について、最初の 7 週間（8～14 週令）で、約 5 枚換羽します。

その後、換羽は遅くなり、20 週令以降は、週間約 0.2 枚の換羽となります。性成熟が進めば換羽も進みます。成羽への換羽確認は軸羽の次から数えます。

発育が早ければ（過肥鶏）、換羽はそれに応じて早くなります。通常、週平均 3～5%産卵の鶏群で、平均 1.1～2.0 枚幼羽が残ります。



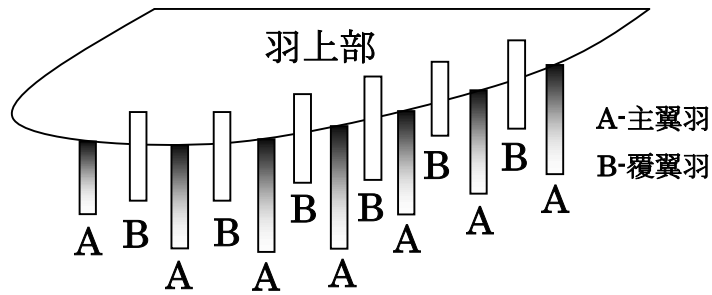
主翼羽において幼羽と成羽では写真のように羽の形状が違うので、見分けがつきます。

育成途中の換羽状況

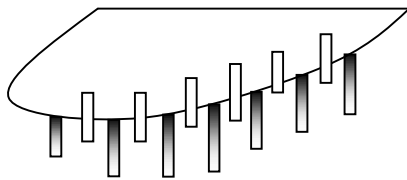


#### 4) ブロイラー雛における羽鑑別

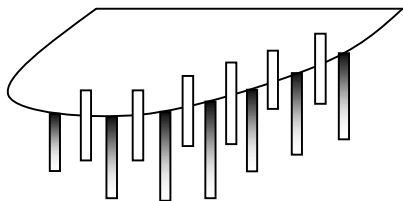
初生雛において遅羽性のブロイラー雛では羽による鑑別が可能で、雌雄で下図に示すような羽の違いが見られる。



雌 (2パターン)  
覆翼羽は常に主翼羽より短い

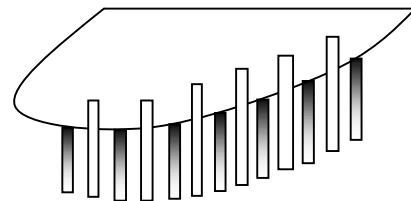


孵化直後で全体的に短い、特に覆翼羽は短く主翼羽の 1/2 から 3/4 しかない。

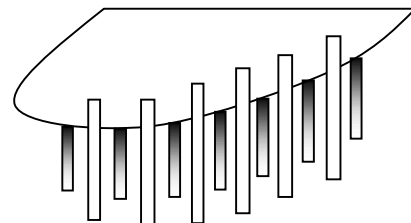


孵化数時間後、全体的に羽は伸長するが、覆翼羽は主翼羽の 1/2 から 3/4 しかない。

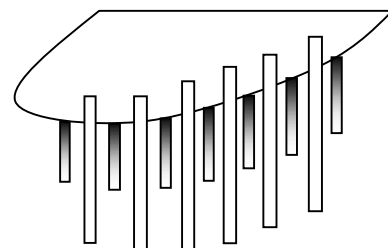
雄 (3パターン)  
覆翼羽は主翼羽と同程度か長い



主翼羽、覆翼羽共に同じ長さ

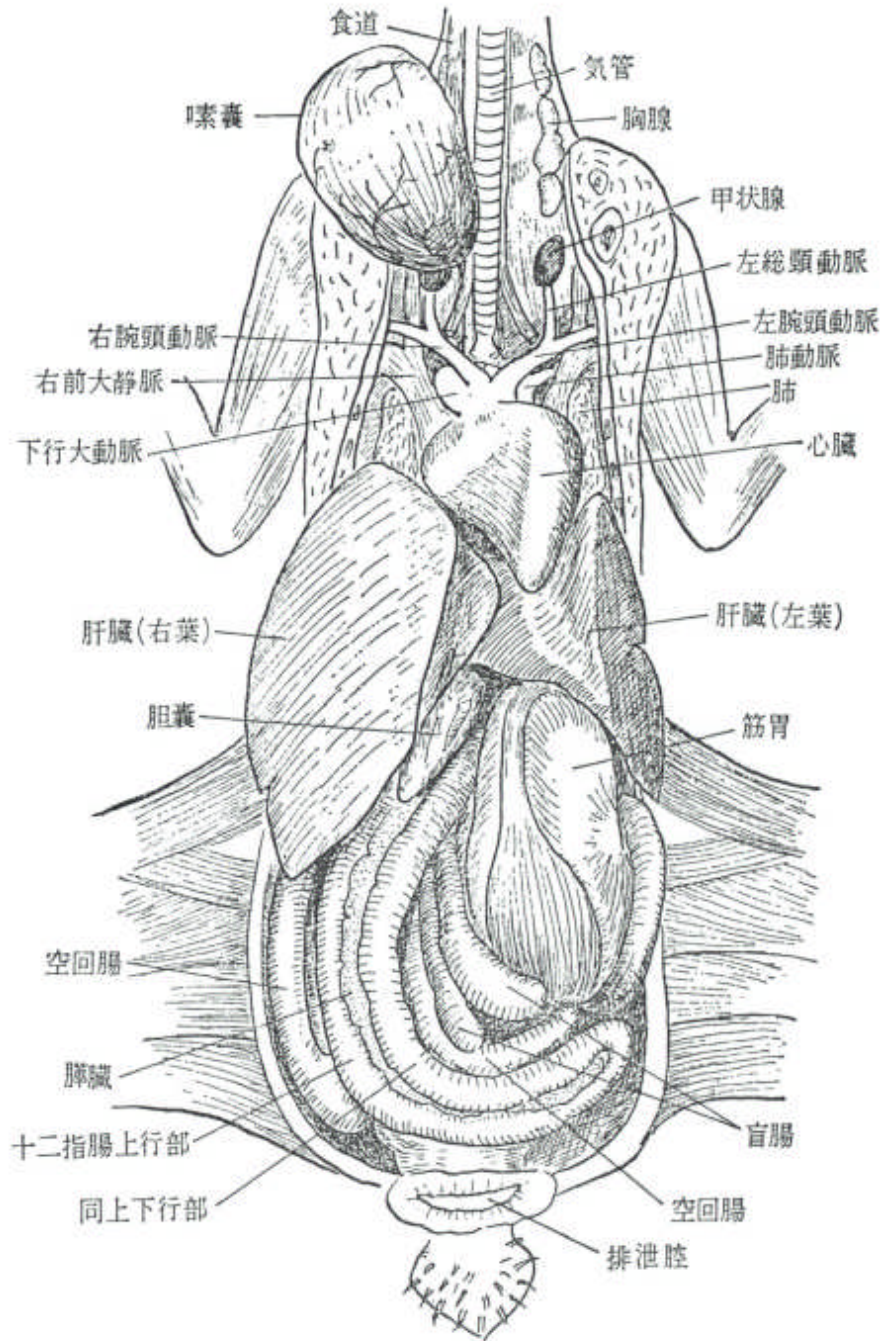


覆翼羽の方がわずかに長い。



覆翼羽の方がかなり長い。

5) 内臓 (模式図)



鶏の内臓 (腹面)

## 6) 消毒薬の人に対する急性毒性

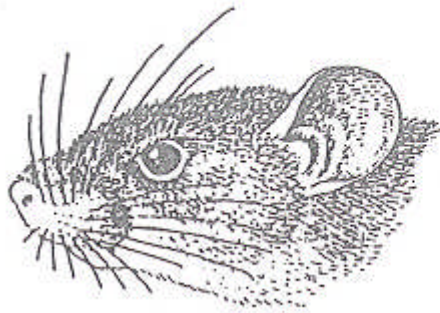
(鶏病研究会報)

消毒薬	人に対する急性毒性
塩素剤・ 次亜塩素酸ナトリウム溶液	飲下すると口食腔、食道粘膜を刺激し潰瘍を起こし喉頭水腫を生じます。蒸気吸入で気管支を激しく刺激し肺水腫を生じます。皮膚に長時間接触すると湿疹壊疽を起こすので重曹水で洗浄します。
フェノール類・ オルソクレゾール	最高作業場濃度 5ppm (22g/m <sup>3</sup> )、皮膚よりの吸収が遅いため致死は少ないのですが、中枢神経麻痺、石炭酸尿、腎炎を起こします。経口的には強い腐蝕性のため胃の神経麻痺嘔吐できず死に至ります。
オルソ剤・ オルソジクロールベンゾール	最高作業場濃度 50ppm (300g/m <sup>3</sup> )、皮膚より容易に吸収され 1,000ppm で致命的麻痺が起こります。皮膚刺激が強い。肝腎が冒されます。
逆性石鹼	皮膚刺激があります。
両性石鹼	一般に毒性は逆性石鹼より弱いですが、なかには強いものがあります。
ヨウ素剤・ヨードホルム	経口 LD <sub>50</sub> 30mg/kg、最高作業場 0.1ppm (1mg/m <sup>3</sup> )、ヨウ素蒸気 0.1ppm までは呼吸器に影響ありませんが、0.15～0.2ppm で苦痛に、0.3ppm で耐え得なくなります。経口致死量は塩素、臭素に比し弱いのですが刺激性は強いです。濃度により咳嗽、鼻炎、催涙、耳下腺腫脹、頭痛、眩暈、耳鳴、眼華閃発等の障害を起こし、濃厚蒸気の吸入で肺水腫を起こし死に至ります。
ホルムアルデヒド	最高作業場 5ppm (6mg/m <sup>3</sup> )、臭気は 0.8ppm で感じます。低濃度でまず目の粘膜を、高濃度では気道を刺激し咳嗽、胸部頸部圧迫感、粘膜の出血糜爛、吸入後食欲減退、食物嫌悪、体重減、衰弱、不眠を起こします。慢性中毒は知られていませんが、人により過敏症を起こします。

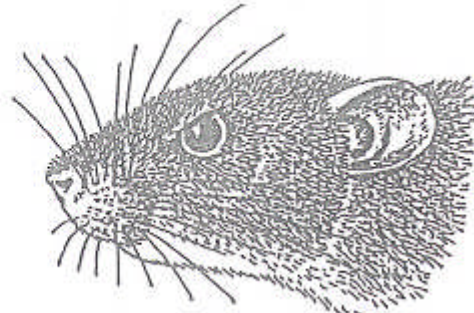
## 7) ネズミの生態

### 耳の大きさの比較

(宇田川 1981)



クマネズミ



ドブネズミ

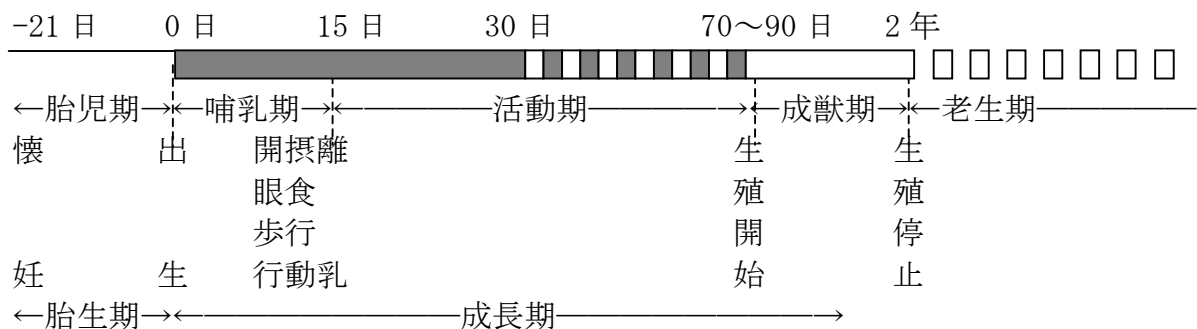
### 家鼠種の特徴

種類	外見の特徴	型と成獣の大きさ	家と周辺での主な行動	行動の型
クマネズミ	耳たぶが薄くて大きい 尾が胴より長い	大型の中 体長 18~20cm 体重 120~200 g	天井裏、壁の中、なげし、はりの上、棚や家具の上など高所、乾いた場所	立体的 (縦に行動)
ドブネズミ	耳たぶが厚めで小さい 尾が胴より少し短い	大型の大 体長 20~26cm 体重 200~400 g	床下、台所、地下室、下水、石垣、植込み、川岸などの水分の多い場所、土中に穴を掘る	平面的 (横に行動)

### 「家鼠」の寿命と繁殖

種別	寿命	繁殖可能期間	妊娠期間	年間分娩回数	1回の産仔数
クマネズミ	約3年	生後約3ヶ月~2年	約21日	5~6回	平均約6匹
ドブネズミ	約3年	生後約3ヶ月~2年	約25日	5~6回	平均約9匹

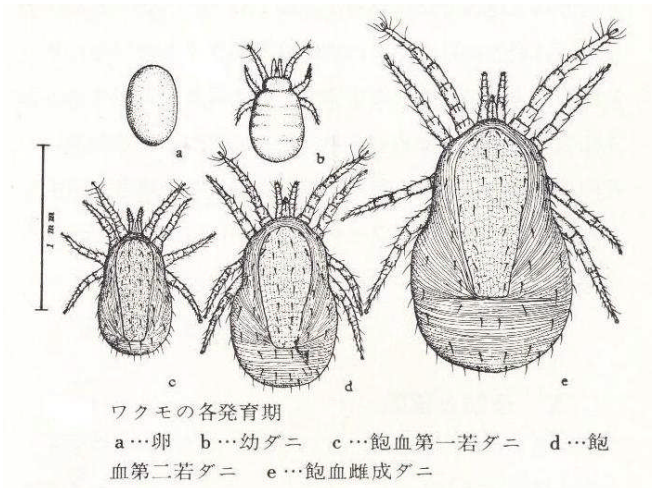
\*寿命は最適条件下で飼育した場合



ねずみの一生 (クマネズミ) 注: ドブネズミもほぼ同じ

## 8) ダニ類の生態

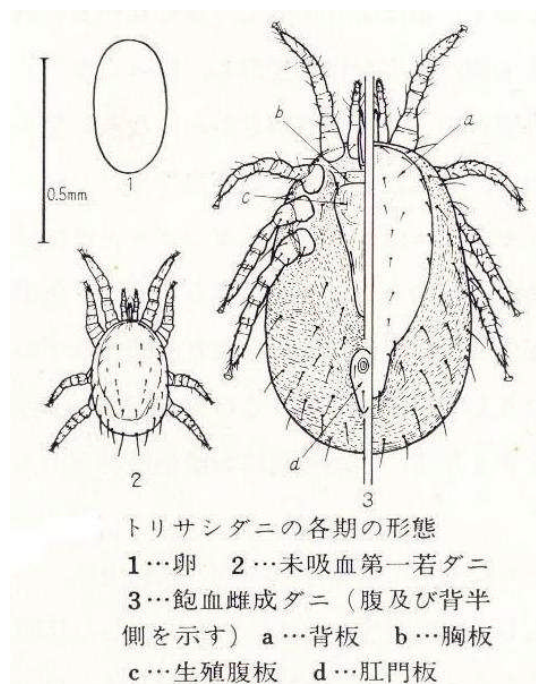
### ワクモ



生態：ワクモの雌ダニは吸血後1日で産卵を始め、卵は5日以内に孵化する。幼ダニは吸血することなく第一若ダニに脱皮し、吸血して1日後に第二若ダニに変わり、吸血2日以内で成ダニに脱皮する。この一世代は約8～9日で、成ダニはしばしば吸血する。

昼間は鶏舎の割れ目、隙間、乾燥した鶏糞の下などに潜み、夜間に鶏の体に這い上がり吸血するために、吸血による貧血をおこし、体重の減少や産卵率の低下をまねく。

### トリサシダニ

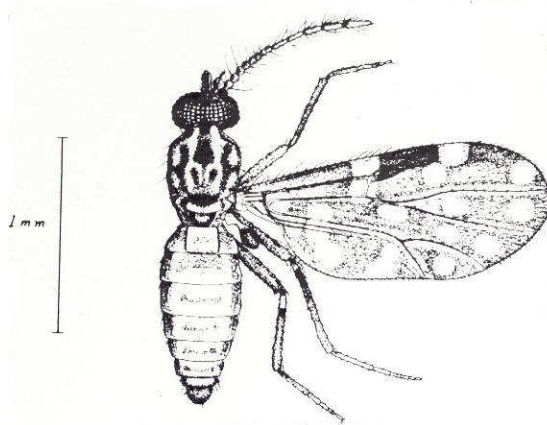


生態：各発育期ともに、ワクモと比較して幾分小型である。雌ダニは吸血後約1日後から10個程度の卵を産み、卵は2日で孵化し、半日後には吸血することなく第一若ダニに脱皮し、第二若ダニは約1日以内で吸血することなく成ダニに変わる。ワクモと違い、羽毛に集塊を作り、その中に産卵し、まれにしか鶏の体から離れることはない。ダニの寄生部位は肛門周辺が最も密度が高く、腹の側面、背肩部にも多く見られる。重感染時には体重や産卵の減少、貧血死などがおこる。

## 9) ヌカカの生態

吸血昆虫で、吸血時にヌカカの唾液腺内にあるロイコチトゾーン・カウレリーのスポロゾイトが鶏体内に注入され、ロイコチトゾーン症の感染を起こすことが問題である。成虫の活動期間は4月から10月の間で、気温が10℃以下では活動できない。水田の泥土中に産み付けられた卵は、気温が上昇すると孵化し、幼虫からサナギ、さらに成虫となって羽化する。

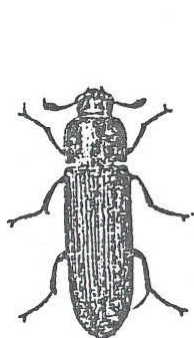
蚊・ヌカカ



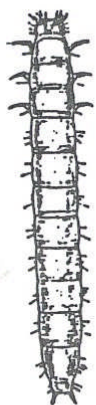
## 10) 鶏舎内に生息する昆虫

近年のウインドウレス鶏舎の普及により、以下のような昆虫が四季を通じて鶏舎内でみられるようになった。こういった昆虫は防疫上の問題だけでなく、鶏舎の断熱材を食い荒らす害虫であるため、駆除が必要である。

コクヌストモドキ



成虫



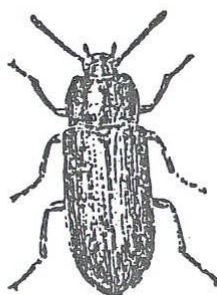
幼虫



さなぎ

成虫；体長3～4mm  
全体赤褐色を呈し、光沢はほとんどない

ガイマイゴミムシダマシ



成虫



幼虫



さなぎ

成虫；体長6～15mm  
光沢のある真黒  
終令幼虫；鶏舎では壁面の断熱材の切断面から孔をうがち内部に侵入する

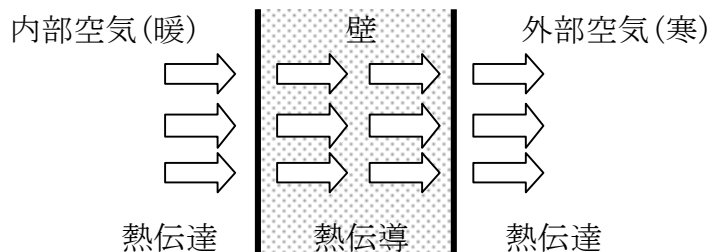
11)各地の日の出、日の入り

月日	札幌		盛岡		新潟		鳥取		山口		福岡		宮崎		鹿児島	
	日出	日入	日の出	日の入り	日の出	日の入り	日の出	日の入り	日の出	日の入り	日の出	日の入り	日の出	日の入り	日の出	日の入り
1月1日	7:06	16:10	6:56	16:21	6:59	16:35	7:12	17:00	7:20	17:15	7:23	17:21	7:14	17:21	7:17	17:25
1月11日	7:05	16:19	6:56	16:30	7:00	16:43	7:13	17:09	7:21	17:23	7:23	17:29	7:15	17:29	7:18	17:33
1月21日	7:00	16:31	6:52	16:41	6:56	16:54	7:10	17:19	7:18	17:33	7:21	17:38	7:14	17:37	7:16	17:42
1月31日	6:52	16:44	6:45	16:53	6:50	17:05	7:04	17:29	7:13	17:42	7:16	17:48	7:09	17:47	7:12	17:51
2月10日	6:40	16:58	6:35	17:05	6:41	17:16	6:56	17:39	7:05	17:52	7:08	17:57	7:02	17:56	7:05	18:00
2月20日	6:27	17:11	6:23	17:16	6:29	17:27	6:45	17:49	6:55	18:02	6:58	18:07	6:53	18:04	6:56	18:08
3月2日	6:09	17:25	6:07	17:29	6:14	17:38	6:32	17:59	6:42	18:11	6:46	18:16	6:40	18:13	6:44	18:17
3月12日	5:52	17:37	5:52	17:39	6:00	17:48	6:18	18:08	6:29	18:20	6:33	18:24	6:28	18:20	6:32	18:24
3月22日	5:35	17:49	5:36	17:49	5:45	17:58	6:04	18:16	6:15	18:27	6:20	18:32	6:16	18:27	6:19	18:31
4月1日	5:17	18:01	5:20	17:59	5:29	18:07	5:50	18:25	6:02	18:35	6:06	18:39	6:03	18:34	6:06	18:37
4月11日	5:00	18:13	5:04	18:09	5:14	18:16	5:36	18:33	5:48	18:43	5:53	18:46	5:50	18:41	5:54	18:44
4月21日	4:43	18:24	4:49	18:19	5:01	18:25	5:23	18:41	5:36	18:50	5:41	18:54	5:39	18:48	5:43	18:51
5月1日	4:28	18:36	4:36	18:29	4:48	18:35	5:11	18:49	5:25	18:58	5:30	19:01	5:29	18:55	5:33	18:58
5月11日	4:16	18:47	4:25	18:39	4:37	18:44	5:02	18:58	5:15	19:06	5:21	19:09	5:20	19:02	5:24	19:05
5月21日	4:06	18:57	4:16	18:48	4:29	18:52	4:54	19:05	5:08	19:13	5:14	19:16	5:14	19:09	5:18	19:11
5月31日	3:58	19:06	4:10	18:57	4:24	19:00	4:49	19:12	5:04	19:20	5:09	19:23	5:09	19:15	5:14	19:18
6月10日	3:55	19:13	4:07	19:03	4:21	19:06	4:47	19:18	5:02	19:26	5:08	19:28	5:08	19:20	5:12	19:23
6月20日	3:55	19:17	4:07	19:07	4:21	19:09	4:48	19:22	5:02	19:29	5:08	19:32	5:09	19:23	5:13	19:26
6月30日	3:58	19:18	4:11	19:07	4:25	19:10	4:51	19:23	5:05	19:30	5:11	19:33	5:12	19:24	5:16	19:27
7月10日	4:05	19:15	4:16	19:05	4:30	19:08	4:56	19:21	5:10	19:28	5:16	19:31	5:16	19:23	5:20	19:26
7月20日	4:13	19:08	4:24	18:59	4:37	19:03	5:02	19:16	5:17	19:24	5:22	19:27	5:22	19:19	5:26	19:22
7月30日	4:23	18:58	4:32	18:51	4:45	18:55	5:10	19:09	5:24	19:17	5:29	19:20	5:28	19:13	5:32	19:16
8月9日	4:34	18:46	4:42	18:40	4:54	18:44	5:17	18:59	5:31	19:08	5:36	19:11	5:35	19:04	5:39	19:07
8月19日	4:44	18:31	4:51	18:26	5:02	18:32	5:25	18:48	5:38	18:57	5:43	19:00	5:41	18:54	5:45	18:57
8月29日	4:55	18:15	5:00	18:12	5:11	18:18	5:33	18:35	5:45	18:44	5:50	18:48	5:48	18:42	5:51	18:45
9月8日	5:06	17:57	5:10	17:56	5:19	18:03	5:40	18:21	5:52	18:31	5:57	18:35	5:54	18:30	5:57	18:33
9月18日	5:17	17:40	5:19	17:39	5:28	17:47	5:48	18:06	5:59	18:17	6:04	18:21	6:00	18:16	6:03	18:20
9月28日	5:28	17:22	5:28	17:23	5:37	17:32	5:55	17:51	6:06	18:03	6:10	18:07	6:06	18:03	6:10	18:07
10月8日	5:40	17:04	5:38	17:07	5:46	17:17	6:03	17:37	6:14	17:49	6:18	17:54	6:13	17:51	6:16	17:54
10月18日	5:51	16:47	5:48	16:52	5:55	17:02	6:12	17:24	6:22	17:36	6:25	17:41	6:20	17:39	6:23	17:43
10月28日	6:04	16:32	5:59	16:39	6:05	16:50	6:21	17:12	6:30	17:25	6:34	17:30	6:27	17:28	6:30	17:32
11月7日	6:17	16:19	6:10	16:27	6:16	16:39	6:30	17:03	6:39	17:16	6:42	17:21	6:36	17:20	6:39	17:24
11月17日	6:29	16:09	6:22	16:18	6:26	16:31	6:40	16:55	6:49	17:09	6:52	17:15	6:44	17:14	6:47	17:18
11月27日	6:42	16:03	6:33	16:13	6:37	16:26	6:50	16:51	6:58	17:05	7:01	17:11	6:53	17:11	6:56	17:15
12月7日	6:52	16:00	6:43	16:11	6:46	16:24	6:59	16:50	7:07	17:04	7:09	17:10	7:01	17:10	7:04	17:14
12月17日	7:00	16:01	6:50	16:13	6:54	16:26	7:06	16:52	7:14	17:07	7:16	17:13	7:08	17:13	7:11	17:17
12月27日	7:05	16:06	6:55	16:18	6:58	16:32	7:11	16:57	7:19	17:12	7:21	17:18	7:13	17:18	7:16	17:22
12月31日	7:06	16:09	6:56	16:21	6:59	16:34	7:12	17:00	7:20	17:15	7:22	17:20	7:14	17:21	7:17	17:25

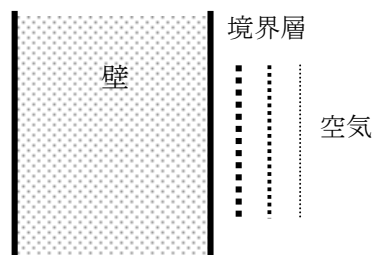
1 2) 断熱の効果について

(1) 風速と熱伝導率

- ・ 室内の熱を含んだ空気から壁を通して外の空気へ熱が伝わるような現象を熱通過といいます。
- ・ この現象は、高温側空気から低温側の壁面に熱が伝わり（熱伝達）、次にこの熱は、壁体中を高温側壁面から低温壁面側に向かって流れます（熱伝導）。
- ・ 低温側壁面に達した熱は、壁面よりさらに温度の低い空気へと伝わり（熱伝達）、壁を通過する熱流が生じます（熱通過）。



- ・ 熱伝達の割合（熱伝達率、 $\text{kcal}/\text{m}^2 \cdot \text{時} \cdot ^\circ\text{C}$ ）は、空気の流れの速度（風速）によって、並びに壁と空気の流れの間に生じる境界層の厚さによって変化します。境界層の厚さは、風の速度に強く影響を受けます。（風速が遅い時に境界層は薄くなる）とともに、壁面の形態（壁の表面の仕上げが平滑か、あるいは粗いかまた材料の種類等）によって変わります。（壁面が平滑であると境界層は薄くなります。）



境界層の厚さは、  
空気の速度・温度・（粘性）、壁の  
表面の状態などで異なります。

- ・ 断熱のためには、熱伝導率は小さいほどよく、そのためには境界層が薄くて、風速が低いことが理想的（断熱効果がよい）です。

材質表面の粗滑に対する風速（m/秒）と熱伝導率（ $\text{kcal}/\text{m}^2 \cdot \text{時} \cdot ^\circ\text{C}$ ）の例

風速 \ 表面	2.24	4.47	6.60	8.94
平滑漆喰	3.25	4.60	5.94	7.22
荒面漆喰	3.88	5.82	7.80	9.70
コンクリート	3.86	5.61	7.40	9.10
ガラス	2.96	4.30	5.50	6.70
れんが	3.96	5.80	7.70	9.60
松板（平滑）	3.11	4.60	6.03	7.39
松板白ペンキ	3.16	4.50	5.75	6.90

- ・ 風当たりの強い場所では、防風柵を設けるとともに、鶏舎の外壁面に 熱反射の良い白ペンキを塗るとか、内壁にアルミニウム箔を張ったり、ビニールカーテンを使用するなどの処置をして下さい。
- ・ 人が、冬期に、風に当たると気温がそれほど低くなくても大変寒く感じるのは、風で熱伝達率が増すためです。

(2) 断熱と結露

①結露

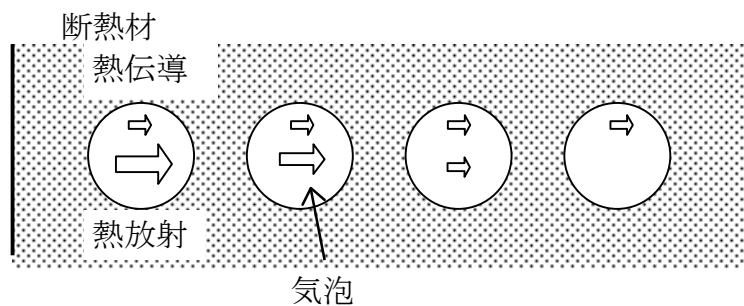
- ・ 「結露は空気中に含まれる水蒸気が、飽和温度より低い温度の物体に触れると水に変わり、物体に水滴が付着した状態」です。
- ・ 0℃の空気中には 4.8 g/m<sup>3</sup> の水蒸気しか含むことができないが、20℃の空気中には 17.2 g/m<sup>3</sup> の水蒸気を含むことができます（飽和水蒸気量）。
- ・ 例えば、鶏舎の室温が 20℃で 14 g/m<sup>3</sup> の水蒸気を含み、壁面の温度が 5℃（飽和水蒸気量は 6.8 g/m<sup>3</sup>）とすると、14-6.8=7.2 g/m<sup>3</sup> が水となり壁面に付着します。

気温（℃）と飽和水蒸気量（g/m<sup>3</sup>）

気温（℃）	-5	0	5	10	15	20	25	30	35	40
飽和水蒸気量	3.4	4.8	6.8	9.3	12.8	17.2	22.8	30.4	39.2	51.2

(3) 断熱材と水

- ・ 断熱材は、その材料が多孔質になるほどその中に空気層が多くなり熱伝導率が小さくなり、断熱効果が高まります（但し同じ材料でも密度が低くなると空隙が増え、空気に対流が生じると断熱効果が低下します）。



熱が材料中を伝わる場合、放射による伝熱量は、無数にある隔壁のため、ほとんど0になり、この結果、熱流は主として材料に含まれる空気中の熱伝導によって生じます。

各種材料の熱伝導率 (kcal/m<sup>2</sup>・時・°C)

材料	熱伝導率	材料	熱伝導率	材料	熱伝導率
杉	0.11	鋸屑 (ラワン)	0.07	空気(20°C)	0.022
ベニヤ	0.13	もみがら	0.13	水(20°C)	0.514
石綿スレート	1.25	コンクリート	1.4	氷(0°C)	1.9
発泡樹脂板	0.03			雪(新雪)	0.06
ガラス綿板	0.03			雪(しまり雪)	0.10-0.17

- ・水の熱伝導率は上表から判るように、空気より約 23 倍も大きいものです。
- ・もし、断熱材の中に結露した水や、水洗の祭の水が吸収されると断熱効果は著しく減少します。
- ・断熱材と断熱材のつなぎ目や、断熱材の破損部分など、水が吸収しやすいところには、しっかりと目張りを施して下さい。

### 1 3) 記録項目

育成期育成率 = 週末生存羽数 ÷ 餌付け羽数 × 100

ヘンハウス羽数 (H. H. 羽数) = 24 週令末羽数

成鶏期残存率 = 週末生存羽数 ÷ H. H. 羽数 × 100

週間延べ羽数 = 毎日の生存羽数の合計

1 日 1 羽当たり給餌量 = 週間飼料給餌量総量 ÷ 週間延べ羽数

H. H. 産卵率 = 週間産卵個数 ÷ (H. H. 雌羽数 × 7) × 100

H. H. 種卵率 = 週間種卵個数 ÷ (H. H. 雌羽数 × 7) × 100

H. D. 産卵率 = 週間産卵個数 ÷ 週間延べ雌羽数 × 100

H. D. 種卵率 = 週間種卵個数 ÷ 週間延べ雌羽数 × 100

種卵採取率 (採取率) = (総種卵個数 ÷ 総産卵個数) × 100

累計受精率 = (総受精卵個数 ÷ 総入卵個数) × 100

累計健雛孵化率 = {(総発生羽数 - 総淘汰雛羽数) ÷ 総入卵個数} × 100

累計孵化率 = (総発生羽数 ÷ 総入卵個数) × 100

H. H. 1 羽当たり産卵個数 = 総産卵個数 ÷ H H 雌羽数

H. H. 1 羽当たり種卵個数 = 総種卵個数 ÷ H H 雌羽数

H. H. 1 羽当たり健雛羽数 = 総発生健雛羽数 ÷ H H 雌羽数

日卵量 = 産卵率 (H. D.) × 平均卵重 ÷ 100

H. H. 雌 1 羽当たり飼料量 = 飼料総量 ÷ H H 雌羽数

産卵 1 個当たり飼料量 = 飼料総量 ÷ 総産卵個数

種卵 1 個当たり飼料量 = 飼料総量 ÷ 総種卵個数

生産健雛 1 羽当たり飼料量 = 飼料総量 ÷ 総発生健雛羽数

変動係数 (CV%) = 標準偏差 (SD) ÷ 平均体重 × 100

#### 1 4) 養鶏業界を取り巻く主な法規則

飼育環境の防疫や食の安全、環境の保全を図るために様々な法規則が定められています。種鶏業界においても、法令遵守が求められています。  
主なものを下記に示しました。(2004年4月現在)

- 1) 畜産振興の基盤として、家畜衛生、とくに家畜の伝染病の発生を予防し、まん延を防止することを目的に「**家畜伝染病予防法**」が昭和26年に制定されました。  
本法は家畜伝染病の発生予防・まん延の防止、輸出入検疫等に関する多くの規定がありますが、これらに対して時代の推移・変化に対応するための改正がなされています。
- 2) 鶏肉の安全確保により国民の健康維持を図る目的で食鳥検査制度である「**食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律**」が1992年4月1日から実施されています。
- 3) 事業活動に伴って発生する悪臭について必要な規制を行い、生活環境を保全する目的で家畜排泄物法である「**家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律**」が1999年11月1日から施行、猶予期間5年を経て2004年11月1日から完全実施となります。
- 4) 廃棄物の排出を抑制、及び廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、生活環境を清浄にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る目的で廃棄物処理法である「**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**」が2002年12月1日から実施されています。
- 5) 肥料の品質を保全し、公正な取引を確保するため、肥料の規格の公正、登録、検査を行い、農業生産力の維持促進に寄与する目的で「**肥料取締法**」が2003年7月1日から実施されています。
- 6) 事業者から公共用水域に排出される水及び地下水に浸透する水を規制すると共に、公共用水域及び地下水の水質の汚染防止を図る目的で1971年6月24日に施行された「**水質汚濁防止法**」が2005年4月1日から改正されます。
- 7) 今後は、ブロイラー産業が担う社会的な責任を果たす上で環境対策を規制する「省エネ法」、「温対法」などの法規の重要性が増すものと予想されます。